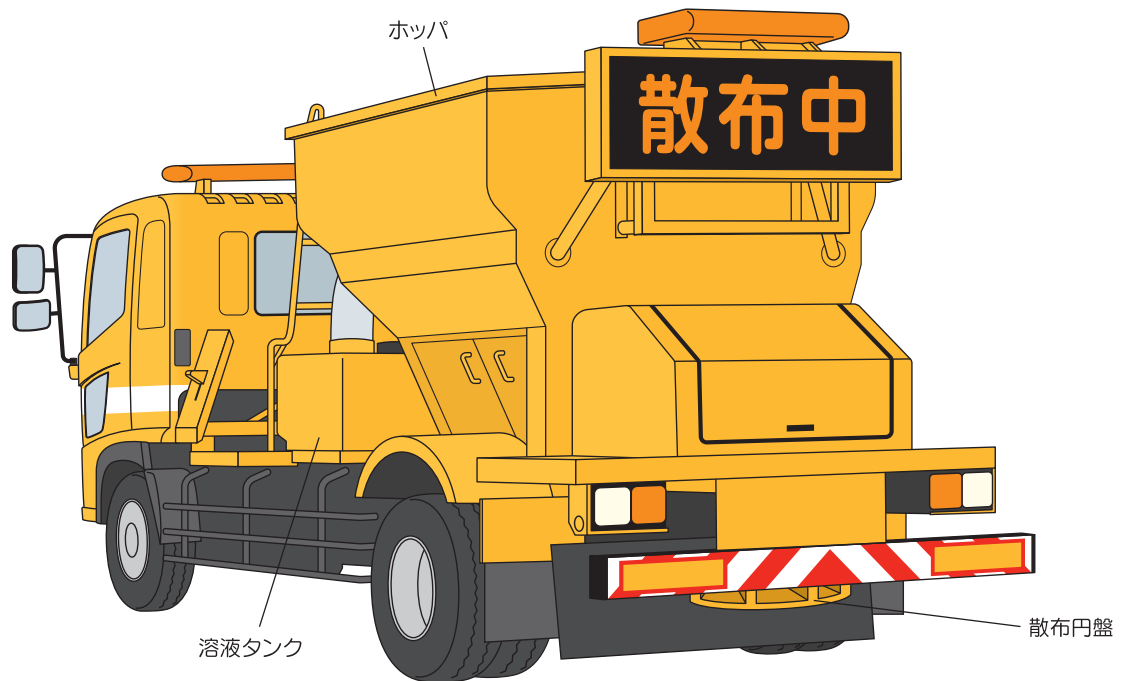


凍結防止剤散布車

概要

凍結防止剤散布車は、路面の凍結防止、防滑、除雪作業の支援等を目的とし、路面の圧雪又は氷盤状態上に塩化ナトリウム、塩化カルシウム等の防止剤を散布する機械です。散布量、散布幅の設定をすれば、車速の変化に追従して散布密度を一定にすることができます。

- トラックベースに、凍結防止剤を積載する「ホッパ」を備え、車両後部の円盤より散布する。
- 湿式・湿潤式など、飛散防止や路面への定着性を向上させた機種がある。
- 散布量は20g/m²など、車速に同調し一定量を散布可能。散布幅も選択可能。



散布作業

路面に積雪や水分があり、路面温度が0℃以下になると、凍結により車両がスリップしやすい状態となります。路面の凍結が予想される場合や凍結が生じた場合、カーブや急勾配、橋梁などに凍結防止剤（塩化ナトリウムなど）を散布して、凍結を防ぎます。



湿潤式と湿式の違い

湿潤式は湿式の飛散防止、即効性等の利点を活かしつつ、運用コストを低減する目的で開発されており、ホッパに投入された原塩の一部で溶液を生成するため、湿式で基地に必要な溶液の貯蔵タンクが不要となっている。



湿式散布車



溶液貯蔵タンク